

4 農業災害補償関係勘定

貸借対照表
(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	1,224	リース債務(短期)	0
有価証券	100	引当金	1
短期貸付金	600	賞与引当金	0
その他の流動資産	13	その他の流動負債	0
流動資産合計	1,937	流動負債合計	1
II 固定資産		II 固定負債	
1 有形固定資産		リース債務(長期)	0
建物	0	引当金	50
減価償却累計額	△0	退職給付引当金	50
その他の有形固定資産	3	固定負債合計	51
減価償却累計額	△2	負債合計	51
有形固定資産合計	1	(純資産の部)	
2 無形固定資産	0	I 資本金	
3 投資その他の資産		政府出資金	1,800
投資有価証券	1,900	民間出資金	1,800
その他の投資その他の資産	0	資本金合計	3,600
投資その他の資産合計	1,900	II 利益剰余金	
固定資産合計	1,901	前中期目標期間繰越積立金	107
		積立金	21
		当期末処分利益	59
		(うち当期総利益)	(59)
		利益剰余金合計	187
		純資産合計	3,787
資産合計	3,838	負債純資産合計	3,838

損益計算書

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	7	貸付事業収入	5
直接業務費	2	貸付金利息	5
管理業務費	4	事業収入合計	5
賞与引当金繰入	1	財務収益	
退職給付引当金繰入	2	受取利息	0
減価償却費	1	有価証券利息	37
一般管理費合計	16	財務収益合計	37
財務費用			
支払利息	0		
経常費用合計	17	経常収益合計	42
経常利益	25		
臨時損失		臨時利益	
固定資産除却損	0	厚生年金基金代行返上益	30
退職給付会計基準改正に伴う調整額	6	退職給付引当金戻入	11
臨時損失合計	7	臨時利益合計	41
当期純利益	59		
当期総利益	59		

1. 貸借対照表

- (1) 平成27年度末における資産総額は38億38百万円(0.3百万円増)である。主な内訳は、現金及び預金が12億24百万円(6億円増)、有価証券が1億円(6億円減)、農業共済団体に対する短期貸付金が6億円(1億万円減)、投資有価証券が19億円(1億円減)である。
- (2) 負債総額は51百万円(59百万円減)である。主な内訳は、退職給付引当金50百万円(58百万円減)である。
- (3) 純資産総額は37億87百万円(59百万円減)である。主な内訳は、政府及び農業共済組合連合会等からの出資金36億円(増減なし)、利益剰余金1億87百万円(60百万円増)である。

2. 損益計算書

- (1) 平成27年度の経常費用は17百万円(16百万円減)、経常収益は42百万円(6百万円減)で、この結果、当期総利益は59百万円(利益の44百万円増)となった。
- (2) この利益が増加となった主な要因は、
- ① 退職給付会計基準改正に伴う調整額(6百万円増)の支出があったこと、
 - ② 金利の低下により財務収益が37百万円(2百万円減)となったこと、
 - ③ 貸付金平均残高の減少により貸付金利息が5百万円(1百万円減)となったものの、
- 一方で、
- ① 人件費の減少により一般管理費が16百万円(17百万円減)となったこと、
 - ② 厚生年金基金の解散に伴う代行返上益(30百万円)及び退職給付引当金戻入(11百万円)の収入があったこと
- 等による。